巻末情報ページ

このページは直接学習とは関係ありません。
情報としてお役立てください。

卒業を迎えて 48

卒業におもう 54

レポート送付用封筒の住所訂正ラベル 61

在学生アンケートにご協力ください 63
聖徳通信掲載用 在学生アンケート「冬・春期スクーリング＆新年度にあたっての目標！」

春期
卒業特集

卒業を迎えて

平成24年3月9日
&
平成24年3月10日

平成23年度聖徳大学学位記授与式並びに卒業証書学位記授与式が、通信通学合同で下記の通り挙行され、通信課程卒業生213名のうち101名（大学院4名・大学72名・短期大学部25名）が参加されました。

平成24年3月　9日…大学院児童学研究科・大学児童学科・短期大学部保育科
平成24年3月10日…大学社会福祉学科・心理学科・英米文化学科・日本文化学科

卒業生の内訳

大学院児童学研究科博士前期課程……	6名
児童学部児童学科……………………	22名
人文学部児童学科……………………	15名
人文学部社会福祉学科………………	55名
人文学部心理学科……………………	39名
人文学部英米文化学科………………	19名
人文学部日本文化学科………………	10名
短期大学部保育科……………………	47名
計…………………………………………	213名

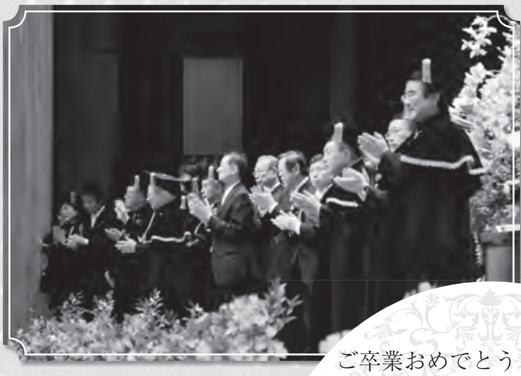
～式次第～

開式の辞
国歌・学園歌斉唱
学位記授与・資格授与
告　辞
祝　辞
記念品贈呈
送　辞
答　辞
謝恩の歌
送別の歌
保護者謝辞
閉式の辞

両日とも天候は小雨模様でしたが、多くの卒業生が出席されました。
卒業を迎えた皆さんの表情は明るく希望に満ちあふれていました。

川並 弘純 学長は、「本学では知識の集積だけでなく、その知識を活かすための術を学ばれたと思います。皆さんの活躍が未来を作ります。学位記には、通信、通学といった言葉は一切ありません。学位記に恥じることのないよう、自覚をもって社会で活躍して欲しい。」と述べられました。

聖徳大学川並記念講堂で行われた卒業式。
厳かな中にも祝福の歌が卒業生を包みます。



ご卒業おめでとうございます。
ご卒業をされた後も、スクーリングや試験でおとずれた、皆さんの学び舎“聖徳大学”を時折思い出してください。
そして、ここで得たかけがえのない学友のみなさんとの縁がこれからも続きますように心から願っております。

保育士表彰

通信教育課程から、藤澤さんが代表として表彰されました！

短期大学部保育科
藤澤 純子さん（千葉県在住）

大学院

修了生インタビュー

聖徳大学大学院　児童学研究科
児童学専攻　博士前期課程
小暮 眞弓さん（茨城県在住）

—入学のきっかけを教えてください。

きっかけは、人生の折り返し地点を過ぎて、後で思い残すことがないようにと考えた時、教育や心理についてもっと勉強したいと思ったことです。それから、近年関心を持っていた特別支援教育についても学びたいと思いました。研究テーマは、発達障害に関する内容で選びたいと考えていましたが、指導してくださった先生にも助言をいただいて、「高等学校教師の発達障害のある生徒への進路指導意識」に決めました。

—修了を迎えた感想をお聞かせください。

とにかくうれしいです。何とか2年で修了したいと思っていましたが、学友の中には3年計画、4年計画の人もいて、自分の計画は無謀なのかと心配でした。そしていざ学習が始まってみると、読む本がたくさんあり、レポートの下書きや清書にも時間がかかり、レポートやテストが一度で通過できないものもあったりで、なかなか当初の予定通りには進みませんでした。修論も直すところがいろいろありました。今は本当にほっとしています。

—聖徳大学での一番の思い出を教えてください。

仕事が終わってから夜、または休みの日に修論指導の都築先生、腰川先生の研究室を何度も訪ねたことです。先生方はせっかくのお休みをつぶして、私の都合に合わせて指導してくださり、本当にありがたかったです。年末年始も家事や行事の合間に修論を書き、メールでやりとりしながらがんばりました。そのご指導のおかげで、何とか納得のいく修論を仕上げることができたと思います。先生方には心から感謝しております。

—学習の支えとなったものは何でしたか？

いろいろありますが、一番大きかったのは自分の「学びたい」という気持ちだったと思います。勉強は大変でしたが、苦にはなりませんでした。それから、聖徳の先生方や、事務の方々、研究に協力してくださった先生方、励ましてくださった同僚の先生方、迷惑をかけたけれど黙って協力してくれた家族にも支えられました。あとは、今後を考えて何とか2年で修了したい、という自分の執念が支えだったような……気がします。

—今後の夢や将来の夢をお聞かせください。

まずは学校心理士になりたいと思います。修論のテーマも特別支援に関することでしたが、勤務校での教育相談や、特別支援教育の推進に関係のある仕事に寄与できるとうれしいです。難しいとは思いますが、今度はそのための勉強をがんばりたいですね。また、福祉関係のボランティアをしたいと考えています。

—後輩のみなさんへのメッセージをお願いします。

学びたいと思ったときに始められる通信教育は、とてもありがたい学びの方法です。「仕事を持ち、家庭を持ち、家も近くはないのに……本当にやれるのだろうか」と自分に問いながらの挑戦でしたが、多くの人に支えられてやり抜くことができました。皆さんも充実した学びの時を過ごし、豊かな実りを手にしてください。そこからまた新しい自分が見つかることと思います。

教員からのMessage

大学院修了おめでとうございます

聖徳大学大学院
児童学研究科長　**福沢 周亮**

大学院の通信課程は、本学のみならず他にもあり、修士の学位を取得した方々は大勢育ってきています。

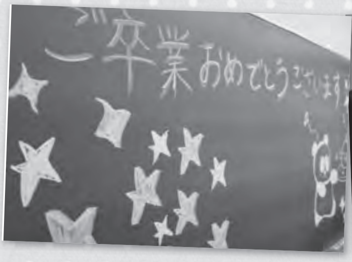
しかし、幼児・児童について、教育、福祉、医療の領域での高度職業人や研究者として活躍が期待されている修士（児童学）取得者は大変少なく、その意味で、その存在価値は大変大きいといえるでしょう。

この度の学位取得を跳躍台にして、おおいに発展していただきたいと希望しています。

この通信課程を修了した方々が口にする大きな困難の一つは、自学自習をどこまで維持できるかという、自分との戦いであったとのことですが、皆さんは、まさにその問題を克服されて今日に至っているわけです。

どうぞこれからも、困難に直面した時には、このことを思い出して乗り切り、前進してください。

大学



卒業生インタビュー

人文学部児童学科
大曲 貴美子さん（神奈川県在住）

―入学のきっかけを教えてください。

『子育てのプロになりたい』という漠然な思いをずっと持っていました。そのために保育士の資格を取ろうと決め、それならば、しっかりと学校で学び、そこで資格を得たいと考え、大学への入学を決めました。

―卒業を迎えた感想をお聞かせください。

スクーリングの単位を取り終え、レポートを書き終え、ピアノの単位を得て、科目終了試験も全ての科目で合格し、卒業研究を書きあげ、全ての単位を修得したとき、ものすごい達成感と共に、すごくほっとしました。

『卒業』が目の前で見え隠れしていた時期が続いていたので、そのせいか、いざ、その時を迎えてもなかなか実感できずにいました。

こうして卒業式を迎えられたことで、ようやく、実感が沸いてきています。

卒業できて、本当に本当に良かったです。

―聖徳大学での一番の思い出を教えてください。

大学生活では、多くの経験をさせていただき、それはとても貴重な体験ばかりでした。その分一つ一つの思い出が印象深く、そこから一番を決めることはとても難しい選択です。

心が折れそうになりながらも必死に取り組んだピアノ試験で、最後の課題曲の合格通知を見たときの感動とか、大震災の日に迎えた保育実習の最終日の出来事とか、どの思い出も、この先、忘れることはない大切な思い出です。

―学習の支えとなったものは何でしたか？

大学入学と同時に始めたピアノも、自分に自信が付くまで練習したのに、それでも何度も試験に落ちて、科目終了試験やレポートも、結果が『D』ばかり続いた時がありました。

心が折れそうになった時、支えてくれたのは同じように学習に取り組む大学の友人たちでした。

多くの助言と励ましのおかげで、卒業までこれたのだと実感しています。

本当に感謝しています。

―後輩のみなさんへのメッセージをお願いします。

学習を始められたばかりの方は、目の前にある課題の多さに『卒業』の文字が遠く感じられることがあるかもしれません。また、学生生活を2年、3年と継続されている方も、『卒業』というゴールはどこにあるのかと見失いそうな時があるでしょう。

でも、必ず『その時』はやってきます。

大切なのは諦めずに、少しずつでも前に進むことだと思います。

どうぞ、自分の歩幅で前進していってください。

卒業生インタビュー

人文学部社会福祉学科
尾畑 るり子さん（千葉県在住）

―入学のきっかけを教えてください。
　介護福祉士を取得する時も誘ってくれた同僚の先輩が、社会福祉士はきっとこれから社会に必要な仕事だから一緒にがんばろう！と言ってくれました。介護業務をしながら日々福祉制度や権利擁護の理解や利用が十分されていない実情を体感していましたので、介護福祉士受験後すぐに聖徳大学に入学を申し込みました。

―卒業を迎えた感想をお聞かせください。
　ある時、台風の中、試験のため松戸を目指した日がありました。自分では勉強も自信がないけれど、苦労してせっかく来たのだからここは最後までやりきって帰ろうと時間まで頑張りました。これがなんと合格。このうれしさが自信につながり、あきらめなければできるかもしれないと思いました。「最後まであきらめない」これは、国試受験にも通じると思いました。遅れていた単位取得も、四年で卒業したいと計画的に取り組んでいきました。こうして願いがかなってたどりついた「卒業」が本当にうれしいです。

―聖徳大学での一番の思い出を教えてください。
　実習です。包括支援センターと保健所を経験させていただきました。後者は半年という長い手続きの期間を要し、実習まで大きな不安が募りました。実習担当の事務の方には前例がないため、長期間に渡って連絡・手続きをとってくださり、大変な御尽力いただきました。また、しばしば励ましていただき、なんとか実習に臨めた初日のうれしさは今でも忘れられません。大学のみなさん、実習まで導いてくださった先生方、大変お世話になりありがとうございました。貴重な実習体験は今後の私にきっと活かされると信じています。

―学習の支えとなったものは何でしたか？
　応援団のおかげです。試験の日は夕飯準備をして迎えてくれた家族がいます。合格するたびに一緒に喜んでくれました。病床からいつも「頑張ってね」と応援してくれた親がいます。スクーリングの時には遠方の叔母がきて代わりに付き添ってくれました。試験後にご飯を食べる仲間がいます。いつも励まし合い、元気をもらいました。さまざまな職場からきていることで苦労して時間を作って取り組んでいる様子に刺激をもらいました。いつも先に進んで引っ張ってくれた先輩がいます。応援メールやお古の参考書を送って力づけてくれました。

―今後の夢や将来の夢をお聞かせください。
　社会福祉士の資格を取ることです。そして相談業務から広く介護支援相談や権利擁護に関連する力を身につけていきたいと考えています。多くの人たちの「必要な支援や援助が受けられること、自分らしく生活できること」に向けて力になれたらと思っています。大学では、知る力の強さを学びました。これからも忘れずに学ぶ努力を続けたいとおもいます。

―後輩のみなさんへのメッセージをお願いします。
　レポートや試験勉強が思うようにいかなくて進まない時は、放り出したくなるときがあります。そのようなときは、なぜその勉強をしようと思ったのか、その資格をとって何をしたいと考えたのかを思い出してみてください。自分の夢を描き実現するために今がんばっていることを思いかえします。そうしたら、一年後、十年後の自分を考えると意外と時間が無い！ことに気づいてエンジンがかかります。夢をもつ意味は大きいと思います。

教員からのMessage

「幸せへの道(通信教育)」を走破した皆さんへお祝いを

聖徳大学 通信教育部長
森 聖雨

　このたび聖徳大学通信教育課程を卒業され学士の称号を得られた皆さん、卒業おめでとうございます。皆さんは日常生活の大半を生業に従事しつつ通信教育の学修にはげまれ、このたびの栄冠をかちとることができました。いろいろな苦労と困難があったと思いますが、それらを克服されての今日の栄光はより一層輝かしいものであります。
　ただ、今日の栄光は単なる学歴の取得や免許の獲得ということにとまるものではありません。あなた方は人生航路において成功をもたらす「幸せの図式」にそう最適な道を選択実践していたのです。「幸せの図式」の行動階序をふり返って見ましょう。最初に「なりたい自分像」を見定めます。ついで「なりたい自分像」実現への最適な接近経路を探し出します。自分に見合う接近経路が明らかになれば、ただちに接近を開始します。最後に「なりたい自分像」になれるための努力を傾注します。
　今日、卒業を迎え、学士号を授与された皆さんは、「なりたい自分像」への最適な接近経路として通信教育を選びました。今や一連の行政手続をとることで「なりたい自分像」をかちとることになります。いうなれば、「幸せへの道」に横たわるすべての障害を乗り越え完走したわけです。
　皆さんの先輩たちもキャリア・アップをめざして通信教育課程を選択し、履修し、卒業後、続々とめざしたキャリアを得て「幸せ」をかちとっています。「幸せの道」を歩き終えた卒業生の皆さんに、やがて訪れる「なりたい自分像」との対面の日を心からお祝いいたします。

卒業生インタビュー

短期大学部保育科
三好 恭子さん（東京都在住）

―入学のきっかけを教えてください。

以前から子どもと関わることが大好きでした。

現在は子育て中ですが、その子育てを通じて、子どもの成長は素晴らしいものであると感じるようになりました。

「子育てだけで終わらせるのはもったいない」、「子どもと関わる仕事がしたい」と思い、資格と免許の取得を目指して入学を決めました。

―卒業を迎えた感想をお聞かせください。

卒業を迎えることができて本当にうれしいです。この3年間の時間は、自分にとって宝物であり、貴重でよい思い出です。

あっという間の3年間でした。予定通りに学習を進めることができない時もありましたが、家族や友達に相談することで、頑張ることができました。

計画を立て、目標に向かって勉強を進めるよう心がけていました。卒業を迎えた今、自分に学ぶ力が身についたように思います。そしてそれは、自分にとっての大きな自信となりました。

―聖徳大学での一番の思い出を教えてください。

聖徳大学に入学して、いろいろな方と知り合うことができたことです。スクーリングではたくさんの人と話をすることができ、楽しかったです。

―学習の支えとなったものは何でしたか？

ピアノの「弾き歌い」の練習の時一緒に歌ってくれた娘、試験の時には「頑張って」と声をかけてくれていた両親、家族、友達、職場の協力があったので、卒業を迎えることができたと思っています。本当に感謝しています。

自宅や職場近くの図書館は、頻繁に利用していました。たくさんの本を読むことで題材が増えるので、レポートを作成する時に役立ちました。

―今後の夢や将来の夢をお聞かせください。

これからも学ぶ気持ちを忘れずに、資格を生かして仕事をしていきたいです。

―後輩のみなさんへのメッセージをお願いします。

目標を立て、それを目指して努力することが大切です。

だめだった時には、何故だめであったのかを考えて、次の目標をたてて学習を進めていくことだと思います。

また、友達や家族に相談してアドバイスをもらうのも、自分では思いつかなかった新鮮な意見が得られてよいと思います。

ぜひ、卒業を目指して頑張って下さい！！

教員からのMessage

成功体験を生かして

聖徳大学短期大学部 通信教育部
保育科長　**塚本 美知子**

ご卒業、おめでとうございます。早春の光が皆さまのこれまでのご努力にやさしく降り注いでいるようです。

皆さまは、通信教育の道を自ら考えて選び、自らの力で「卒業」、そして、「免許」「資格」を取得しました。取り組みの過程で自分自身に向き合わなければならず、時に、つらい日々もあったでしょう。しかし、誰にも負けない「強い意志」と「力」を持っていることが実証された今、自信をもって社会に貢献できるはずです。

皆さまが幾多の困難に打ち勝ち、道を切り開いたその姿は深い感動を呼びます。私は、卒業総合面接の後、皆さまの話を伺い、「意志の強さ」「学ぶ意欲を持ち続けている」ことに感動致しました。苦労や喜びを共有できる仲間の存在、支えてくれた家族・職場の人々への感謝、それらをお話しくださった方が何人もおりました。仲間との触れ合い、周囲の人々への感謝を今後も大事にしていただきたいと思います。

今後は、それぞれの目標となる姿を描き、さらに高まる自分を意識して努力してくださることを願っております。卒業によって手にした免許や資格は、その職についてもよいという許可証のようなものだと思います。その道の専門家になるには、実践があってのことでしょう。構築した理論を踏まえた実践、実践によりさらに理論構築をする、これを繰り返す必要があります。じっくりと自分を見つめる時間は少なくなるかもしれませんが、その確保と、支え合う仲間を大切にし、チャレンジ精神を持ってご活躍くださることを願っております。

卒業生からのMessage（メッセージ）

卒業の日を
迎えることができ、
頑張った分、
とても感慨深いです。
英米文化学科（東京都在住）

頑張り抜くことができたのは
学友と先生方と事務の
お力添えがあったからだと
思います。
ありがとうございました。
英米文化学科（神奈川県在住）

通信は自分との闘いですが、
そういう意味では素直に
頑張ったなと思います。
まわりの人とも協力しながら
卒業に向けて頑張ってください！
英米文化学科（東京都在住）

とにかく通信は
自分との闘い！！
スクーリングで知り合った
仲間がいたから、くじけそうな
時も励まし合いながら
頑張れました。
児童学科（東京都在住）

立ち止まらず
進むこと！！
卒業まで！！
児童学科（静岡県在住）

聖徳で出来た仲間の
サポートがあったからこそ
卒業出来ました。
働きながら、子育てしながら、
大変でしたがみんなの助けで
この日を迎えられました。
児童学科（埼玉県在住）

みんながいたから
頑張れました。
児童学科（茨城県在住）

入学した時は、
やる気満々でしたが、
科目終了試験に失敗すると
惰性になりがちでした。
周囲の仲間と情報交換をし、
先輩に助けられ無事終了
することができました。
心理学科（東京都在住）

通信大学の卒業率は
10%以下だと聞いていたので、
果たして自分が10%の中に入れるのか
どうか不安でしたが、こうして卒業を
迎えた今、少数派に入れた事に対して
誇りを持つ事が出来ました。
「通信大学を出ました。」と自信を持って
言っていくつもりです。
英米文化学科（千葉県在住）

【レポート送付用封筒の住所訂正ラベル】点線で切り離してご利用ください。

271-8555

15円切手を貼付のこと

第4種郵便物認可
通信教育

千葉県松戸市岩瀬550
聖徳大学5号館2階

271-8555

15円切手を貼付のこと

第4種郵便物認可
通信教育

千葉県松戸市岩瀬550
聖徳大学5号館2階

271-8555

15円切手を貼付のこと

第4種郵便物認可
通信教育

千葉県松戸市岩瀬550
聖徳大学5号館2階

271-8555

15円切手を貼付のこと

第4種郵便物認可
通信教育

千葉県松戸市岩瀬550
聖徳大学5号館2階

271-8555

15円切手を貼付のこと

第4種郵便物認可
通信教育

千葉県松戸市岩瀬550
聖徳大学5号館2階

271-8555

15円切手を貼付のこと

第4種郵便物認可
通信教育

千葉県松戸市岩瀬550
聖徳大学5号館2階

のりしろ
①

聖徳通信掲載用 在学生アンケート

アンケートにご協力ください。
切り離して手順通りに折り、そのままポストに投函してください。

FAXで送信してくださる方は、この面を下記番号までお送りください。 **047-331-7422**

オンライン聖徳通信アンケートにもご協力ください。
http://www.seitoku.jp/tk/tk_info/tk_info.html

のりしろ
①

こんにちは『聖徳通信』です！

『聖徳通信』では、学習上で役立つ情報のさらなる充実を目指し、アンケートを定期的に行っております。
今回のテーマは「**冬・春期スクーリング＆新年度にあたっての目標！**」です。以下の項目にしたがって、回答してください。回答できる項目だけでも結構です。聖徳通信を通して学友のみなさんと情報交換をしましょう。※強制するものではありません。

◆学科および在住県 ＿＿＿＿＿＿学科 ＿＿＿＿＿＿県在住（掲載必須）
◆氏名（イニシャル可） ＿＿＿＿＿＿＿＿＿（掲載可能な場合のみ記載）

Q1 スクーリングの受講履歴を教えてください（科目数）。

A1 □未だない　□1科目〜3科目　□10科目以下　□10科目以上

Q2 スクーリングを受講する上で悩みがあればお聞かせください。

A2 □時間や日数の確保　□距離が遠い
□その他（　　　　　　　　　　　　　　）

Q3 冬・春期スクーリングを受講された感想をお聞かせください。
エピソードやこれから受講をされる人へのアドバイスなどもお待ちしています。

A3 ［　　　　　　　　　　　　　　］

Q4 冬・春期スクーリング受講で印象に残っている科目はありますか。

A4 科目名：［　　　　　　　　　　］
理　由：［　　　　　　　　　　］

点線のまるの中にのりをつけて、のりしろ①にはりつけてください。

キ・リ・ト・リ

点線のまるの中にのりをつけて、のりしろ①にはりつけてください。

●新年度を迎えました！あなたの半年、1年の目標を教えてください！

●今後取り上げて欲しいテーマやご意見、ご要望がありましたらお聞かせください。

ご協力ありがとうございました。
通信教育学務課　『聖徳通信4月号』アンケート係

※この部分にのりをつけて、のりしろ②にはりつけてください。

この部分を折って封をしてください。

ヤマ折り

料金受取人払郵便

松戸支店承認

1030

差出有効期限
平成26年2月
25日まで
（切手不要）

２７１－８７５０

千葉県松戸市岩瀬550
聖徳大学 5号館2階

聖徳大学 通信教育学務課
聖徳通信アンケート係行

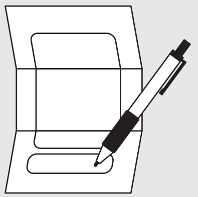
ヤマ折り

のりしろ②

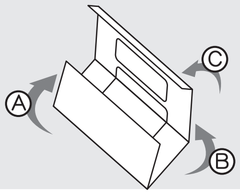
ヤマ折り

アンケートの郵送手順

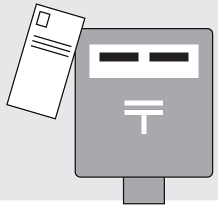
❶ 本誌から切取り
アンケートを
ご記入ください。



❷ のりを塗り、
Ⓐ Ⓑ Ⓒの順番で
折り込んで
ください。



❸ 切手を貼らずに
ポストに投函
してください。



FAXでも受付けています

アンケートは郵送だけでなく、FAX でも受付けています。
下記番号までお送りください。

聖徳大学 通信教育学務課
FAX047-331-7422

キリトリ